

整理番号	15	作成日	平成 19 年 7 月 6 日
事業名	葛西駅地下駐輪場整備事業		
所属名	土木部 街路橋梁課 事業推進係	電話番号	(03) 5662-8423 (直通)

事業の目的・概要・対象者等	<b>《事業の目的及び概要》</b> <b>《事業の開始年度》</b> 平成15年度 <b>【目的】</b> 江戸川区総合自転車対策（H16年10月）に基づき、東京メトロ東西線葛西駅周辺の放置自転車の解消、及び将来増加の見込まれる自転車需要に対応するために、利便性の向上、利用効率の高い駐輪施設、道路ユーザーの視点に立った工事マネジメントの改善、の以上3点を満足する施設形式と工法を適切に選定し、公共駐輪場を整備します。（平成20年4月オープン予定） <b>【概要】</b> 当該施行に際して、従来方式の施設形式（自走式）では、将来需要台数を確保できないこと、及び交通量が多い環七通り（車道部）に対し、工事による渋滞発生等の施工リスクの見通しが大きかったことから、選定委員会（内部）を設置し、最新かつ適正のある施工技術や材料の選定に関して、企業提案方式を用いた総合的な見直し（総合技術評価）を行い、上記目的を実践しました。
	<b>【対象】</b> 葛西駅を利用する自転車を交通手段とする通勤・通学利用者の将来需要台数 9,400台 （提案方式による工法、材料及び施設形式の選定） (1) 地下構造物施工の工期短縮を目的としたPC(プレキャストコンクリート)部材選定 (2) 収納能力の向上と工事費削減を目的とした機械式駐輪施設選定

活動指標	<b>活動指標</b> → <b>収納方式</b> 従来型の自走式から機械式への検討	<b>活動指標</b> → <b>工事期間の短縮</b> 従来の仮設鋼矢板工法から、仮設工と地下躯体工事を兼ねるPC連続地中壁工法と材料選定	<b>活動指標</b> → <b>事業費の軽減</b> 活動指標、の効果による軽減を含め、従来施設建設に対するコスト軽減の検討

成果・目標指標	<b>成果・目標指標</b> → <b>駐輪需要数の確保</b> 従来型 地下一層自走式 7,100台 <b>検討結果</b> 地下一層（機械式併用）自走式 9,400台 <b>説明</b> 従来型の施設では、駅広場と環七通りの地下空間の有効活用をしても将来需要台数に足らず、必要設置台数を確保するための収容形式を研究した。研究に際しては葛西駐輪場検討会〔土木技術系職員により構成〕を発足し、プロポーザル方式を導入。	<b>成果・目標指標</b> → <b>できる限り短い工期</b> 従来型 仮設鋼矢板工法 現場打コンクリート打設による地下躯体建設 <b>検討結果</b> PC連続地中壁工法 <b>説明</b> 従来の工法では、仮設工事 鉄筋組み コンクリートの現場打設 コンクリートの養生と、工期と施工監理に膨大な労力を費やすが、高精度の品質管理の下、工場で作成されたPC壁を地下の本壁として設置することにより、従来の工程（本体建設工期5年）から半分に短縮（本体建設工期2.5年）を実現。	<b>成果・目標指標</b> → <b>従来型より安価な施工費</b> 従来型 自転車1台当たりの施工単価 845,000円 <b>検討結果</b> 自転車1台当たりの施工単価 734,000円 <b>説明</b> 葛西駐輪場検討会の設置・運営により、定例的な多社見積もりに頼らず、市場調査、参考となる既設施設への視察、企業提案方式導入による材料費等の選定を実施したことにより、トータルコスト軽減を実現。

経費の概要	<b>18年度 事業実施経費</b> 24億3,660万円 内訳 ・平成15年～20年度の5ヶ年における総事業費69億2,000万円の約35% ・19年度以降の繰越残額 22億9,400万円（33%）	<b>経費の説明</b> 平成17年度からの継続工事費（総額69億2,000万円）の平成18年度部払い=23億7,475万円 <b>【工事内容】</b> (1)機械式駐輪施設製作設置工事 (2)交通安全施設仮設工 (3)地下駐輪場本体（地下躯体）建設工事 <b>【国庫補助金】</b> 上記工事費のうち、9億5,500万円（臨時交付金） <b>【人件費の考え方】</b> 設計担当2人/年間+1人/2ヶ月+係長1人/業務の2割=2.4人 工事担当4人/年間（係長含む）×深夜割増し2割=4.8人 管理職1人/年間×2割=0.2人 計 7.4人〔61,886千円〕						
	<b>【人件費と担当職員数】</b> 61,886千円	<table border="1"> <tr> <td>ア 常勤職員</td> <td>7.4人</td> </tr> <tr> <td>イ 非常勤職員</td> <td>0.0人</td> </tr> <tr> <td>ウ 臨時職員</td> <td>0.0人</td> </tr> </table>	ア 常勤職員	7.4人	イ 非常勤職員	0.0人	ウ 臨時職員	0.0人
	ア 常勤職員	7.4人						
イ 非常勤職員	0.0人							
ウ 臨時職員	0.0人							

その他	<b>《実施の根拠となる法令等》</b> 江戸川区自転車駐車場整備基本計画（H8年3月） 江戸川区総合自転車対策（H16年10月） 都市計画法に基づく都市施設（事業認可 平成15年10月、事業計画の変更告示 平成17年4月）
	<b>《区民からのご意見やご要望》</b> 道路ユーザーの視点に立った、（公共）道路工事マネジメントの改善（工事の効率化）が求められている。
	<b>《その他》</b>

平成19年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	15	事業名	葛西駅地下駐輪場整備事業
		所属名	土木部 街路橋梁課 事業推進係

所管課長評価

評価項目	評価及び・評価の視点				所管課コメント
1 有効性	有効である	A		有効でない	システムとして汎用型ではない当事業には有効である。
	・事業の目的を達成するために企業提案方式による総合技術評価は有効である。				
2 公平性	公平である	A		公平でない	企業提案方式は、区HP等で公募し、提案の発表に際しては、他社発表の影響を受けないよう配慮。
	・対象者や実施回数等は適切である。 ・提案企業の参加プロセスと発表プロセス				
3 民間活力の活用	現状ままでよい	A		促進したほうがよい	企業提案方式導入により、革新的な技術を活用する点で有効である。
	・最新かつ適正な技術と材料の選定への提案				
4 効率性	現状ままでよい	A		改善の必要がある	部内プロジェクトによる検討と企業提案方式とを組み合わせることにより、見直し期間を短縮した。
	・工期の縮減 ・収容自転車1台当たりの施工費の縮減				
5 必要性	必要である	A		必要ない	大規模プロジェクトの検討方法として必要である。
	・検討内容の客観性 ・検討の迅速性				

所管部長の意見等

民間企業は、最新の施行技術、製品の開発等において、常に市場競争原理にさらされている。行政職員は、それら優れた民間活力を適材適所に導入し、ユーザーへの利便性と生産の効率性を追求する技量等のバランス感覚が求められている。

本事業にあたっては、部内で発足した技術検討会の中に、企業提案(プロポーザル)方式を組み込み、複数の技術系職員によって集中審議されたことにより、非常に短期間での事業見直しが実現した。

このような、企業提案方式による総合技術評価手法は、東京都をはじめとして全国的にも模索され始め、本区はその先駆けといえる。

平成19年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	15	事業名	葛西駅地下駐輪場整備事業
所属名		土木部 街路橋梁課 事業推進係	

外部評価委員会評価

評価項目	評価及び・評価の視点	備考
1 有効性	有効である <b>A</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 有効でない	・事業の目的を達成するために有効である。
2 公平性	公平である <b>A</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 公平でない	・対象者や実施回数等は適切である。 ・受益者負担の額は適切である。
3 民間活力の活用	現状ままでよい <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <b>B</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 促進したほうがよい	・ボランティアやNPOと協働して実施したほうがよい。 ・民間事業者へ委託等したほうがよい。
4 効率性	現状ままでよい <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <b>B</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 改善の必要がある	・効率的に実施するために、工夫、改善等の必要がある。 ・経費を削減できる。
5 必要性	必要である <b>A</b> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 必要ない	・事業の目的を果たすためには公費を投じて実施すべき事業である。

外部評価委員の各意見

・駐輪場の整備で放置が無くなるのか。駐輪ができなくなるが利便性の面で商店街はよくなるのか。

・完成すれば、安全で利便性の高い駅になると思う。

・区の会計制度には減価償却といった考え方が無いが、使用料などの設定にあたっては、運営経費だけでなく、建築費用などの初期投資の償却を意識する必要があるのではないか。

・駐輪場の整備によって、放置自転車対策としての真の効果があるといえるのか。